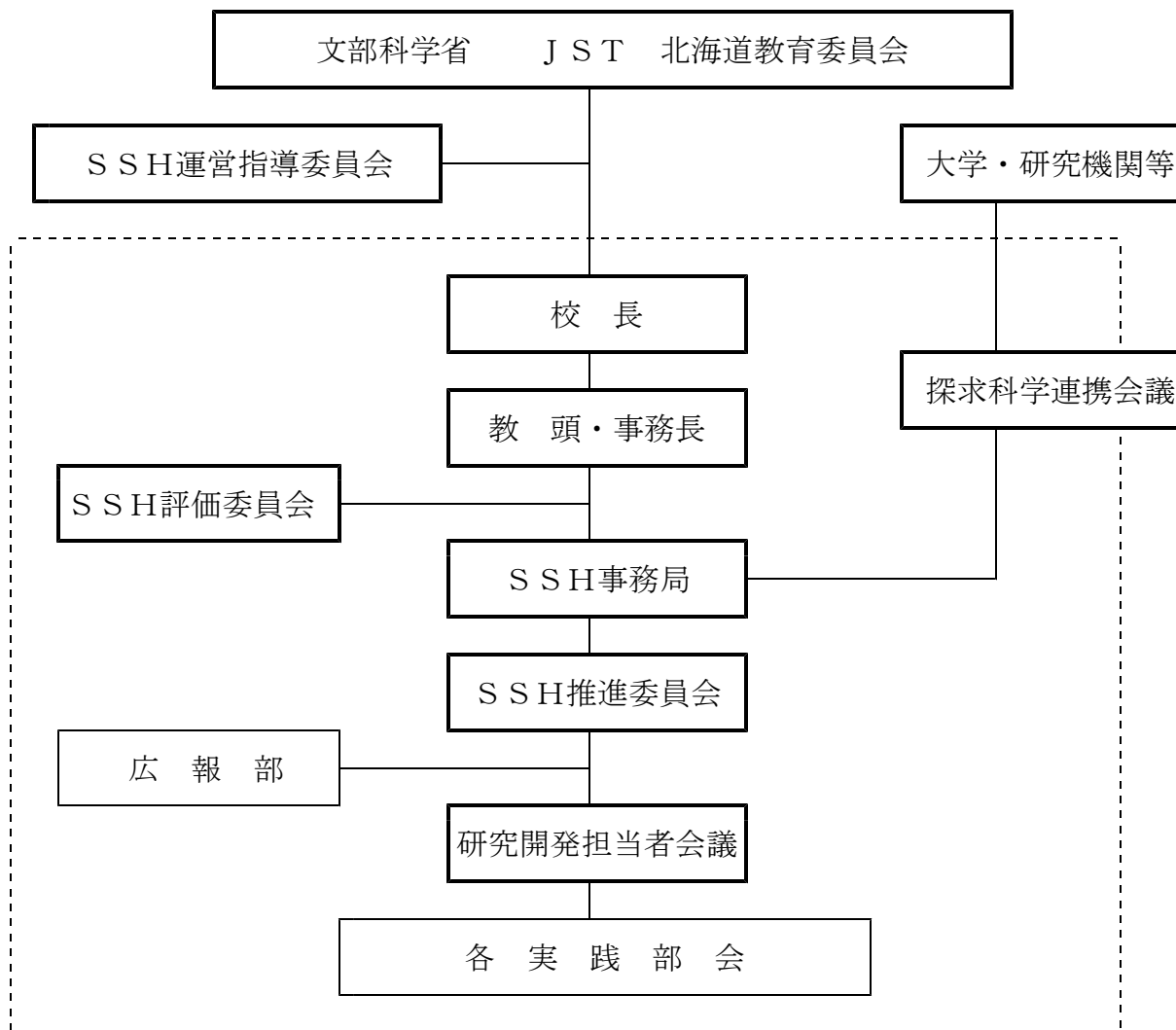


平成25年度SSH研究開発組織の概要

1 研究組織図



2 研究組織図の呼称と機能

(1) SSH運営指導委員会

研究のねらい、内容、方法、評価等について、評価、指導・助言する組織。専門的な見地から学校に対し指導・助言を頂くため、北海道教育委員会や北海道大学・酪農学園大学等の委員で構成する。

(2) SSH評価委員会

研究開発プログラムを評価するために、各種調査及び統計処理を行い分析・評価する組織。得られた評価は、SSH推進委員会でその後の研究開発プログラムに反映すると共に、この評価を基にSSH運営指導委員会で評価・指導を受ける。また、各種講座や行事等の記録を残し、報告書等の資料とする。

(3) SSH推進委員会

SSH研究開発を学校全体の取組として推進する際の要となる組織。各学科及び教科主任のメンバーで構成し、事業（行事、評価等）や授業づくり研究等の取組を、各校務分掌、学年会、教科会等に広げて、学校全体としてSSH研究開発を進めていく。

(4) SSH事務局

SSH研究開発全般のマネジメントを中心に担う組織。SSH推進委員会への原

案提示、事業の企画調整、大学・研究機関との連携調整、予算の執行、教育委員会担当者との連絡調整、文部科学省・JSTとの渉外業務等を担当する。

(5) 研究開発担当者会議

研究開発プログラムに基づいた各事業の企画、運営を行う全校組織。SSH推進委員会で決定した事業や授業研究等の取組を、具体的に展開していくために、教科、学科、校務分掌等の実務担当者で構成し、SSH研究開発を進めていく。

(6) 探求科学連携会議

本校教員と連携先の大学・研究機関等の研究者を構成メンバーとする組織。本校教員が、多面的・継続的に指導・助言を受けることによって、SS課題研究の内容をより高度なものに発展させ、教員の指導力向上を図る。

(7) 広報部

研究開発に基づいた実践、経過状況や成果などを情報発信する組織。HPの他に学校案内等の印刷物の製作、体験入学や中学校訪問と連動させることで生徒募集に役立てる。

3 研究組織と校務分掌の係り

S S H事務局(7)	○農場長、学科主任(2) (フード・環境)、教科主任(3) (理数英)、事務担当者
S S H推進委員会(20)	○総務部長、教務部長、農場長、進路指導部長、各教科主任(9)、各学科主任(7)
S S H評価委員会(13)	○教務部長、農場長、国理数英各教科(4)、各学科(7)
広報部(10)	○総務部部長他(7)、情報管理部(3)